



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4998 URL <https://www.fumakilla.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 郷原 和哉 TEL 0829-55-2112  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	67,672	9.7	2,403	26.9	2,798	20.9	1,377	106.0
2023年3月期	61,712	17.0	1,894	△13.2	2,315	△8.9	668	△51.9

(注) 包括利益 2024年3月期 3,238百万円 (44.8%) 2023年3月期 2,236百万円 (34.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	83.58	—	6.3	4.7	3.6
2023年3月期	40.58	—	3.4	4.1	3.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	62,366	25,602	37.2	1,406.35
2023年3月期	57,370	22,890	36.1	1,256.20

(参考) 自己資本 2024年3月期 23,177百万円 2023年3月期 20,703百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	4,327	△1,219	△1,765	8,172
2023年3月期	66	△1,168	823	6,215

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	—	—	22.00	22.00	362	54.2	1.8
2024年3月期	—	—	—	22.00	22.00	362	26.3	1.7
2025年3月期 (予想)	—	—	—	22.00	22.00		26.1	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	39,700	7.0	1,900	33.0	1,850	4.9	930	3.6	56.43
通期	74,000	9.3	2,800	16.5	2,900	3.6	1,560	13.2	94.66

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	16,490,000株	2023年3月期	16,490,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	9,765株	2023年3月期	8,768株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	16,480,707株	2023年3月期	16,481,335株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	25,355	5.1	△934	—	820	△26.1	587	—
2023年3月期	24,123	△4.0	△663	—	1,110	△28.9	13	△99.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	35.64	—
2023年3月期	0.85	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	42,256		16,836		39.8		1,021.62	
2023年3月期	41,740		16,316		39.1		989.98	

(参考) 自己資本 2024年3月期 16,836百万円 2023年3月期 16,316百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,000	2.5	1,020	49.7	720	59.7	43.69
通期	26,500	4.5	1,030	25.5	730	24.3	44.29

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある事業等のリスクにつきましては、有価証券報告書をご覧ください。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

また、業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(セグメント情報) .....	15
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

(単位：百万円)

指標等	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	増減率 (%)
売上高	61,712	67,672	5,960	9.7
営業利益	1,894	2,403	509	26.9
経常利益	2,315	2,798	483	20.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	668	1,377	708	106.0
1株当たり当期純利益	40円58銭	83円58銭		

(当期の国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	増減率 (%)
国内	27,856	28,652	796	2.9
海外	33,856	39,020	5,163	15.3
合計	61,712	67,672	5,960	9.7
海外売上構成比	54.9%	57.7%		

当連結会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）におけるわが国経済は、ウィズコロナの中で回復基調にある一方、急激な為替変動や長期化する不安定な国際情勢など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、それぞれの国に最適な高効力・高品質の商品を提供し、世界中のより多くの人々に安心を届けることを目指しています。

特に、この数年でグループ全体の事業領域と欧州展開をはじめとする地理的な拡大が進んだため、それらの経営基盤強化と事業展開のスピードアップを積極的に進めてまいりました。

その結果、連結売上高は前年同期比9.7%増の676億72百万円（為替変動の影響を除くと4.8%増）となりました。

国内売上は、主力の殺虫剤が2024年殺虫剤シーズンのスタートとなる2024年3月に天候不順の影響を受け前年対比で減収となったものの、上期から第3四半期にかけては外出機会の増加に伴う殺虫剤市場の拡大や、残暑の影響による返品減少もあったことから前年同期比2.9%増の286億52百万円となりました。

一方、海外売上は、主力のインドネシアや事業活動が本格化したイタリアにおいて現地通貨ベースで前年を上回り、さらに円安の影響を受けた結果、前年同期比15.3%増の390億20百万円（為替変動の影響を除くと6.4%増）となりました。

次に、売上原価は、前年同期比36億90百万円増加し476億61百万円、売上原価率は70.4%となり、前年同期より0.9ポイント減となりました。売上総利益は200億11百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

販管費につきましては、人件費、販促経費等が増加した結果、前年同期比11.1%増の176億7百万円となりました。

これらの結果、営業利益は24億3百万円（前年同期比26.9%増）、経常利益は27億98百万円（前年同期比20.9%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は13億77百万円（前年同期比106.0%増）となりました。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	48,066	53,868	5,802	12.1
家庭用品	2,280	2,036	△243	△10.7
園芸用品	4,148	4,189	40	1.0
防疫剤	1,723	1,484	△238	△13.8
その他	5,494	6,093	599	10.9
合計	61,712	67,672	5,960	9.7

殺虫剤部門

殺虫剤部門は、国内におきましては、2024年3月の気温が前年より低温に推移したことで市場が縮小し、2024年シーズンのスタートとなる第4四半期は前年対比で減収となりました。一方で、上期から第3四半期にかけては外出機会の増加に伴う殺虫剤市場の拡大と、残暑が長引き販売期間が伸びたことによる返品減により増収となったことから、最終的な結果は150億39百万円（前年同期比7億15百万円増、5.0%増）となりました。

海外におきましては、主力のインドネシア、事業活動が本格化したイタリアが現地通貨ベースで前期を上回り、さらに円安の影響を受けたことから、最終的な円貨ベースでは388億29百万円（前年同期比50億86百万円増、前年同期比15.1%増）となりました。

国内及び海外の殺虫剤合計の売上高は538億68百万円（前年同期比58億2百万円増、12.1%増）となりました。

家庭用品部門

家庭用品部門は、主力のアルコール除菌剤の売上が前期を下回った結果、家庭用品の売上高は20億36百万円（前年同期比2億43百万円減、10.7%減）となりました。

園芸用品部門

園芸用品部門は、主力の除草剤が伸長した一方で、園芸用ハンドスプレー、園芸用不快害虫商品の売上が前期を下回った結果、園芸用品合計の売上高は41億89百万円（前年同期比40百万円増、1.0%増）となりました。

防疫剤、その他の部門

防疫剤部門の売上高は、14億84百万円（前年同期比2億38百万円減、13.8%減）となりました。

その他の部門の売上高は、子会社のフマキラー・トータルシステム(株)のシロアリ施工工事が好調で、60億93百万円（前年同期比5億99百万円増、10.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度における総資産額は、49億95百万円増加し、623億66百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が19億55百万円、売掛金が10億81百万円、商品及び製品が6億53百万円、原材料及び貯蔵品が5億70百万円、投資有価証券が3億74百万円、電子記録債権が3億11百万円増加した一方で、建設仮勘定が68百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、22億82百万円増加し、367億63百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が14億71百万円、電子記録債務が4億32百万円、返金負債が3億58百万円、長期借入金が1億25百万円、退職給付に係る負債が1億13百万円増加した一方で、短期借入金が9億70百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、27億12百万円増加し256億2百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が10億88百万円、利益剰余金が10億14百万円、その他有価証券評価差額金が2億96百万円、非支配株主持分が2億38百万円増加したこと等によるものであります。

自己資本比率は1.1ポイント増加し、37.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【連結キャッシュ・フロー計算書(要約)】

(単位：百万円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	66	4,327	4,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,168	△1,219	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	823	△1,765	—
換算差額	392	614	222
現金及び現金同等物の増減額	114	1,956	1,842
現金及び現金同等物の期首残高	6,007	6,215	208
現金及び現金同等物の期末残高	6,215	8,172	1,956

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ19億56百万円増加し、81億72百万円となりました。

営業活動によって獲得した資金は43億27百万円(前年同期は66百万円の獲得)となりました。これは税金等調整前当期純利益が27億66百万円、減価償却費が14億64百万円、売上債権の増加額が14億7百万円、仕入債務の増加額が19億3百万円、法人税等の支払額が7億88百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によって使用した資金は、12億19百万円(前年同期は11億68百万円の使用)となりました。これは有形固定資産の取得による支出が11億53百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によって使用した資金は17億65百万円(前年同期は8億23百万円の獲得)となりました。これは短期借入金の純増減額の減少が9億98百万円、配当金の支払が3億62百万円あったこと等によるものです。なお、当連結会計年度末における借入金残高は、前期末に比べ9億8百万円減少して、149億84百万円となりました。

## (4) 今後の見通し

(単位：百万円)

指標等	2024年3月期	2025年3月期	増減額	増減率(%)
売上高	67,672	74,000	6,327	9.3%
営業利益	2,403	2,800	396	16.5%
経常利益	2,798	2,900	101	3.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,377	1,560	182	13.2%
1株当たり当期純利益	83円58銭	94円66銭		

赤道近くの国々では、蚊が媒介するマラリアやデング熱などの伝染病でいまだに多くの命が奪われています。そこでは、殺虫剤は命を守るために欠かせない必需品です。

当社グループは、「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。」という経営理念のもと、殺虫剤、家庭用品、園芸用品をコア事業と位置づけ、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献する商品を提供しています。このことは当社グループの事業そのものがSDGsの目標3.「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」のターゲット3.3「2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。」を実践していることに他なりません。

世界全体が様々な要因によって不確実性を増しており、景気の先行きは見通せない状況のなか、当社グループは経営理念を実現するため、それぞれの国に最適な高効力・高品質の商品を提供し、世界中のより多くの人々に安心を届けることを目指しています。

特に、この数年でグループ全体の事業領域と欧州展開をはじめとする地理的な拡大が進んだため、それらの経営基盤強化と事業展開のスピードアップを積極的に進めてまいります。

これからも、多様なリスクが複雑に絡み合う状況に対し、より柔軟に対応するため、様々な経営課題に取り組んでまいります。以上により、通期の売上高は740億円、営業利益28億円、経常利益29億円、親会社株主に帰属する当期純利益は15億60百万円となる見通しであります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置づけております。利益配分につきましては、業績や将来の事業展開、内部留保等を総合的に勘案しつつ、株主様への安定的かつ継続的な利益還元を努めてまいります。

また、財務体質の強化と経営基盤の強化を図るとともに、研究開発、生産設備、情報機器等の戦略的な投資を積極的に行っていく方針であります。これらは将来にわたる経営体質強化と利益の向上を目指したもので、必ずや株主の皆様への利益還元に貢献するものと考えております。

2024年3月期の期末配当金につきましては、1株について22円を予定しております。

2025年3月期の期末配当金につきましては、期末業績予想を踏まえ、1株につき22円を予定しております。なお、中間配当金につきましては、当社は季節商品である殺虫剤の売上構成比が高く、季節によって業績の変動幅が大きいため、期末配当のみを行っております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,919	8,874
受取手形	519	534
売掛金	15,643	16,724
電子記録債権	174	485
商品及び製品	7,889	8,542
仕掛品	824	730
原材料及び貯蔵品	3,406	3,976
返品資産	673	837
その他	2,158	1,702
貸倒引当金	△14	△20
流動資産合計	38,193	42,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,945	11,502
減価償却累計額	△5,533	△5,988
建物及び構築物(純額)	5,412	5,513
機械装置及び運搬具	13,710	14,695
減価償却累計額	△11,429	△12,458
機械装置及び運搬具(純額)	2,281	2,237
工具、器具及び備品	4,698	5,027
減価償却累計額	△4,147	△4,453
工具、器具及び備品(純額)	550	573
土地	905	928
リース資産	233	54
減価償却累計額	△205	△14
リース資産(純額)	28	40
使用権資産	1,328	1,508
減価償却累計額	△600	△777
使用権資産(純額)	727	730
建設仮勘定	320	251
有形固定資産合計	10,225	10,275
無形固定資産		
のれん	1,064	1,000
商標権	957	898
その他	1,133	1,224
無形固定資産合計	3,155	3,123
投資その他の資産		
投資有価証券	4,867	5,241
繰延税金資産	347	559
退職給付に係る資産	29	135
その他	758	793
貸倒引当金	△194	△149
投資損失引当金	△13	—
投資その他の資産合計	5,795	6,580
固定資産合計	19,177	19,978
資産合計	57,370	62,366

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,299	7,771
電子記録債務	2,740	3,172
短期借入金	15,162	14,191
1年内返済予定の長期借入金	335	271
リース債務	131	85
未払金	3,329	3,301
未払法人税等	318	231
賞与引当金	649	644
返金負債	2,076	2,435
その他	468	1,000
流動負債合計	31,512	33,105
固定負債		
長期借入金	395	521
リース債務	221	257
繰延税金負債	771	1,125
退職給付に係る負債	653	767
役員退職慰労引当金	364	428
資産除去債務	33	34
その他	528	524
固定負債合計	2,968	3,658
負債合計	34,480	36,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698	3,698
資本剰余金	4,797	4,797
利益剰余金	9,442	10,457
自己株式	△7	△8
株主資本合計	17,930	18,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,820	2,117
為替換算調整勘定	915	2,003
退職給付に係る調整累計額	36	110
その他の包括利益累計額合計	2,772	4,232
非支配株主持分	2,186	2,425
純資産合計	22,890	25,602
負債純資産合計	57,370	62,366

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)
売上高	61,712	67,672
売上原価	43,971	47,661
売上総利益	17,741	20,011
販売費及び一般管理費		
運送費	3,068	3,176
広告宣伝費	1,877	1,961
販売促進費	1,370	1,868
旅費及び交通費	484	589
貸倒引当金繰入額	11	5
給料及び手当	3,152	3,476
賞与	189	292
賞与引当金繰入額	405	308
役員賞与引当金繰入額	△19	—
退職給付費用	7	138
役員退職慰労引当金繰入額	57	56
減価償却費	472	544
その他	4,769	5,189
販売費及び一般管理費合計	15,847	17,607
営業利益	1,894	2,403
営業外収益		
受取利息	80	140
受取配当金	130	130
不動産賃貸料	46	46
技術指導料	67	17
為替差益	62	—
その他	172	246
営業外収益合計	560	580
営業外費用		
支払利息	83	115
為替差損	—	13
その他	56	56
営業外費用合計	139	185
経常利益	2,315	2,798

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)
特別利益		
固定資産売却益	5	4
投資有価証券売却益	0	14
役員退職慰労引当金戻入額	45	—
特別利益合計	51	18
特別損失		
固定資産除売却損	4	44
関係会社株式評価損	—	6
役員退職慰労金	319	—
投資損失引当金繰入額	13	—
減損損失	314	—
特別損失合計	651	51
税金等調整前当期純利益	1,715	2,766
法人税、住民税及び事業税	734	939
法人税等調整額	24	139
法人税等合計	759	1,079
当期純利益	956	1,687
非支配株主に帰属する当期純利益	287	309
親会社株主に帰属する当期純利益	668	1,377

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	956	1,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193	296
為替換算調整勘定	1,080	1,180
退職給付に係る調整額	5	73
その他の包括利益合計	1,279	1,551
包括利益	2,236	3,238
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,856	2,836
非支配株主に係る包括利益	380	401

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,698	4,797	9,149	△7	17,637
当期変動額					
剰余金の配当			△362		△362
親会社株主に帰属する 当期純利益			668		668
連結範囲の変動に伴う剰余 金の増減			△12		△12
連結範囲の変動に伴う為替 換算調整勘定の増減					
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	293	△0	293
当期末残高	3,698	4,797	9,442	△7	17,930

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	1,627	△74	32	1,585	1,944	21,167
当期変動額						
剰余金の配当						△362
親会社株主に帰属する 当期純利益						668
連結範囲の変動に伴う剰余 金の増減						△12
連結範囲の変動に伴う為替 換算調整勘定の増減		△4		△4		△4
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	193	994	4	1,192	241	1,433
当期変動額合計	193	989	4	1,187	241	1,722
当期末残高	1,820	915	36	2,772	2,186	22,890

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,698	4,797	9,442	△7	17,930
当期変動額					
剰余金の配当			△362		△362
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,377		1,377
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	－	－	1,014	△1	1,013
当期末残高	3,698	4,797	10,457	△8	18,944

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	1,820	915	36	2,772	2,186	22,890
当期変動額						
剰余金の配当						△362
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,377
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	296	1,088	73	1,459	238	1,698
当期変動額合計	296	1,088	73	1,459	238	2,712
当期末残高	2,117	2,003	110	4,232	2,425	25,602

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,715	2,766
減価償却費	1,463	1,464
減損損失	314	—
のれん償却額	149	124
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△144	193
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13	△39
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△290	45
受取利息及び受取配当金	△211	△270
支払利息	83	115
為替差損益 (△は益)	8	—
関係会社株式評価損	—	6
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△14
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△1	40
受取保険金	△2	△1
役員退職慰労金	319	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,197	△1,407
棚卸資産の増減額 (△は増加)	364	△1,128
仕入債務の増減額 (△は減少)	△578	1,903
返品資産の増減額 (△は増加)	30	△163
返金負債の増減額 (△は減少)	△151	358
未払金の増減額 (△は減少)	△408	△41
未収入金の増減額 (△は増加)	△168	176
その他	598	824
小計	907	4,953
利息及び配当金の受取額	209	264
利息の支払額	△81	△102
保険金の受取額	2	1
役員退職慰労金の支払額	△89	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△880	△788
営業活動によるキャッシュ・フロー	66	4,327
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	39	27
有形固定資産の取得による支出	△1,064	△1,153
有形固定資産の売却による収入	16	1
無形固定資産の取得による支出	△45	△71
無形固定資産の売却による収入	—	3
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	1	49
貸付金の回収による収入	24	—
その他	△138	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,168	△1,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,596	△998
長期借入れによる収入	141	352
長期借入金の返済による支出	△192	△372
リース債務の返済による支出	△185	△201
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の処分による収入	0	—
配当金の支払額	△362	△362
非支配株主への配当金の支払額	△173	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー	823	△1,765
現金及び現金同等物に係る換算差額	392	614
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	114	1,956
現金及び現金同等物の期首残高	6,007	6,215
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	93	—
現金及び現金同等物の期末残高	6,215	8,172

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、殺虫剤、家庭用品、園芸用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業内容とする単一事業であり、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「東南アジア」、「欧州」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場の実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	29,044	24,127	7,231	60,402	1,310	61,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,091	1,774	—	3,865	—	3,865
計	31,135	25,901	7,231	64,268	1,310	65,578
セグメント利益又は損失(△)	△478	1,770	318	1,610	△20	1,590

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	29,208	26,908	9,710	65,828	1,844	67,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,559	2,352	—	5,912	—	5,912
計	32,768	29,261	9,710	71,740	1,844	73,585
セグメント利益又は損失(△)	△614	2,293	294	1,973	2	1,975

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利 益	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)
報告セグメント計	1,610	1,973
「その他」の区分の利益又は損失（△）	△20	2
セグメント間取引消去	303	428
連結財務諸表の営業利益	1,894	2,403

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

「日本」セグメントにおいて、有形固定資産、無形固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、316百万円であります。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
(1) 1株当たり純資産額	1,256.20円	(1) 1株当たり純資産額	1,406.35円
(2) 1株当たり当期純利益	40.58円	(2) 1株当たり当期純利益	83.58円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	668	1,377
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 （百万円）	668	1,377
普通株式の期中平均株式数（千株）	16,481	16,480

（重要な後発事象）

該当事項はありません。